



淡路少年少女発明クラブ ABGICニュース



第30号

2020年10月10日発行



※上のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、ホームページにアクセスできます。

Awaji Boys & Girls Invention Club

令和2年度(第31期) 淡路少年少女発明クラブ開始式

4月4日(土) 13:30～
淡路市立津名公民館
(しづのおだまき館)



令和2年度(第31期)の開始式が、4月4日(土)に淡路市立津名公民館にて行われました。開始式には宗会長をはじめ、指導員と26名のクラブ入部予定の児童が参加しました。宗会長から開始式の挨拶があり、その後に指導員とクラブ員の紹介がありました。閉会の挨拶では、堀口会長代理から入部にあたっての心構えや、活動時の注意事項などの話がありました。今年度は、定員30名のところ36名の入部申し込みがあり、昨年度から継続するクラブ員が8名、洲本市からの参加が3名となりました。淡路少年少女発明クラブを通して、ものづくりへの興味や喜びを実際に体験し、将来に役立ててほしいと思います。

令和2年度(第31期) 淡路少年少女発明クラブの取り組みについて

今年度は、4月4日(土)に開始式を行って以来、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として4月～6月の主な活動を中止する運びとなりました。

また、7月25日(土)に予定をしていました「淡路少年少女発明クラブ創立30周年記念式典」も、開催を中止いたしました。

その後、淡路市教育委員会と協議のうえ、7月から活動を再開いたしました。

活動場所となる淡路市立津名公民館では、3密の回避や健康チェック、マスク・フェイスガードの着用など、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底した上でクラブ活動を行っています。





アイデア工作への取り組み

6月6日(土)～9月26日(土)



6月6日(土)に、アイデア工作案についての勉強会が行われました。日頃の生活から不便に感じたことなど、アイデア工作につながるものはないか、それぞれ身の回りのことを思い出しながら考えました。

7月18日(土)には、各自で描いたスケッチや説明文をもとに、アイデア工作案の発表会が行われました。

すでに試作品を製作済みのクラブ員も何人かおり、内容がよく分かる発表になったと思います。



発表会の後にアイデア工作グループに選ばれた6人の内4人のクラブ員は教室で製作、それ以外の課題工作グループは各家庭で、指導員や家族とともに協力して作品作りに取り組みました。

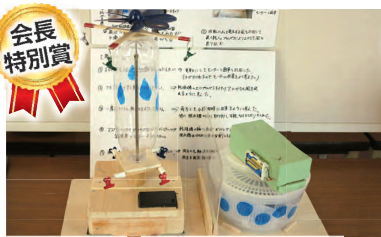


9月26日(土)には、完成した作品の発表会が行われ、合計18点の作品が完成しました。

翌日の27日(日)には、淡路市立津名公民館にて作品の展示と審査会が行われ、会長特別賞、優秀賞、努力賞が選ばれました。

この合計10点は、全日本学生児童発明くふう展へ出品申し込みををしました。

6月からスタートしたアイデア工作、保護者の方々にもお忙しい中、ご協力いただきまして、ありがとうございました。



会長特別賞
「速乾! 助かりマスク」
一宮小学校5年 大杖 蒼一郎



優秀賞
コロナばいばいせだいかん気まど
洲本第二小学校4年 川添 徹



優秀賞
車のゆかがぬれないカサホルダー
一宮小学校3年 真嶋 淳生



優秀賞
楽々消毒
多賀小学校3年 東田 杏帥



努力賞
ケシーくん
津名東小学校3年 土居 諒太郎



努力賞
ぺったんこカンカン
洲本第二小学校6年 紙田 蒼一郎



努力賞
トイレトーパーカッター
志筑小学校5年 大川 華穂



努力賞
パチッとタオルハンガーくん
鳥飼小学校4年 丸林 東真



努力賞
登校の三条件
中田小学校6年 広狩 陽己



努力賞
3う〜の
(お米とげる〜、蒸せる〜、煮る〜の)
浦小学校3年 横島 弓依



課題工作
木を使う工作

マイチェアを作ろう

7月4日(土)・7月11日(土)
春木指導員 主幹

7月4日(土)・11日(土)の2回にわたって、木を使う課題工作として「マイチェア」を作りました。

低学年クラス(3年生)と高学年クラス(4~6年生)に別れて、それぞれ形の違うマイチェア作りに挑戦しました。

木をつなぐ時に使う「ダボ木」も、細い丸い木を切って作り出しました。

普段あまり使うことのないノコギリやドライバーに最初は苦戦しましたが、徐々に使い方にも慣れてきました。

参加した全員がマイチェアを最後まで完成することができました。



課題工作 動く工作 観覧車を作ろう

8月8日(土)
藤川指導員 主幹



8月8日(土)に、動く工作として「観覧車」を作りました。

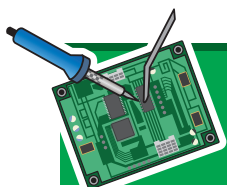
製作時間の関係で、あらかじめ準備された状態からの製作となりましたが、観覧車をスムーズに回すために、各部品を正確に組み立てることの大切さを学びました。

参加した全員が、時間内に観覧車を完成させることができました。

教室が終わった後に、観覧車を手を使わずに長時間ゆっくりと回すようにと課題が出されました。

各家庭で試行錯誤しながら、それぞれ自動で回る観覧車の力作を楽しみにしています。





課題工作 電気工作

電気のお話と、はんだ付け

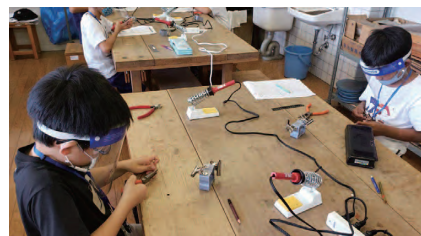
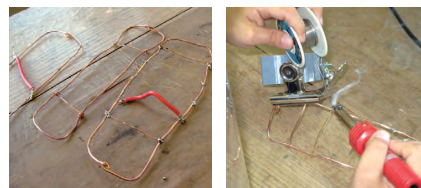
9月5日(土)・9月12日(土)
堀口指導員 主幹

9月5日(土)・12日(土)の2日間にわたって電気工作として「電気のお話と、はんだ付けの実習」が行われました。

1日目は電気についてのお話し。蛍光灯や電話、電車などの身近にある電気の不思議について学びました。

12日(土)の2日目は、実際にはんだ付けの実習を行いました。

普段使用することの少ないはんだごてに苦戦していたクラブ員でしたが、慣れてくると綺麗なはんだ付けをすることができました。



ゴム動力飛行機をヘリコプターに変身させて飛ばそう

6月6日(土)に行われたアイデア工作についての勉強会の後に、ひとつの課題が出されました。

それは、ゴム動力飛行機キットを組み立てて飛ばした後に、ヘリコプターに変身させて飛ばすという課題です。

それぞれの自宅で、試行錯誤を繰り返しながら、色々な形のヘリコプターが完成しました。



事務局担当者のご紹介



淡路市教育部付き部長
(公民館・図書館担当)

坂口 完治 様

淡路少年少女発明クラブ設立30周年、おめでとうございます。このたび発明クラブの事務局になりました坂口です。

今年は新型コロナウイルスで大変な年になりましたが、みなさんのアイデアで、ウイルスを吹き飛ばすような発明を期待しています。コロナに負けるな!

協賛企業のご紹介

淡路少年少女発明クラブに協賛企業としてご支援をいただき、誠にありがとうございます。



ミツ精機株式会社



株式会社三和製作所



ムネ製薬株式会社



山本光学株式会社



株式会社ツダ



淡路少年少女発明クラブ ABGICニュース 第30号 2020年(令和2年)10月10日発行

- 事務局／淡路市立津名公民館(しづのおだまき館)
- TEL/0799-62-0157 ●FAX/0799-62-6844
- 編集委員／丸林貴博、廣瀬幸治、堀口 純 [Issue100]

- 住所／〒656-2131 兵庫県淡路市志筑3117-1
- ホームページ／<http://www.abgic.com/>
- ※右のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、ホームページにアクセスできます。

